

○ 動物検疫所の検疫事業費

令和8年度予算概算決定額 1,792百万円（前年度 1,741百万円）
令和8年度予算概算決定額（デジタル庁計上） 13,551百万円（前年度 13,587百万円）の内数
〔令和7年度補正予算額 47百万円〕

<対策のポイント>

アフリカ豚熱、口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザ等の家畜の伝染性疾病が我が国に侵入しないよう、**動物検疫体制を充実強化**することにより、水際措置に万全を期します。

<事業目標>

我が国への家畜の伝染性疾病の侵入防止を図るとともに、効果的・効率的な水際措置の実施に取り組み、我が国の畜産の振興に寄与

<事業の内容>

訪日外国人の大半を占める中国等のアジア地域では、一度まん延すると発生地域の社会・経済活動に大きな影響を及ぼし得る家畜の伝染性疾病であるアフリカ豚熱、口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザの発生が継続的に報告されています。

これらの地域を始めとする諸外国から我が国へのアフリカ豚熱等の伝染性疾病の侵入リスクに適切に対応するため、動物検疫所は、以下のとおり**動物検疫体制の充実・強化**に取り組みます。

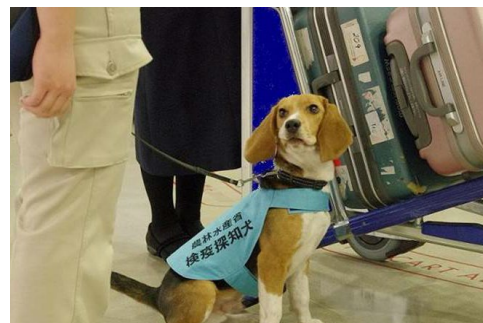
1. 家畜の伝染性疾病の侵入防止（事務費）

- ① **動植物検疫探知犬140頭体制を維持**し、国際郵便物や地方空港も含めた探知活動の充実
- ② 海外旅客が持ち込む物品の消毒による伝染性疾病の侵入リスクの低減
- ③ 海外空港における周知強化等の**入国者への動物検疫制度の周知・広報活動等**
- ④ 情報システムについて、7次NACCS等の利用及び電子証明書（eCert）機能の拡充による、通関手続の迅速化とペーパーレス化の推進

2. 国内における違法輸入畜産物への対応強化

昨年、国内の外国食材店で違法輸入疑い品が販売されている事例において、アフリカ豚熱ウイルス遺伝子が検出されたことを踏まえ、事業者への指導を行うとともに、違法輸入畜産物の販売への対応を強化します。

<事業イメージ>



<国際空港で活動する検疫探知犬>



<国際空港における旅客の靴の消毒>



<港における自転車消毒>



<空港における広報キャンペーン>